

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PERSONAL新大阪校		
○保護者様評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年11月30日
○保護者様評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2024年11月23日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々人の発達課題に合わせて環境を調整している。	個々人の発達課題に合わせて、完全個室、半個室、全体フロアと環境を合わせて対応できるようにしている。	環境を区切るためにパーティションを利用しているが、持ち運びがしやすい分、倒れる危険性も考えられる。1つのパーティションは倒れないように工夫を施して固定できるようにし、もう1つのパーティションに関しては、可動式にする。
2	活動プログラムをその日に来られる利用者に合わせて変化させ、固定化しないようにしている。	見通しを持って過ごすためにあえて固定化しているスケジュールがある。また、ご本人の発達課題に合わせてできるだけ毎回違うことをするお子様もいれば、同じ課題を続けるお子様もいる。	引き続き、それぞれのお子様にとって適切な負荷の活動プログラムとなるため、必要なプログラムの固定は行い、不必要な固定ははずす。また、それぞれのお子様が過ごしやすい工夫を行うとともに、その日に来られるお子様たちのなかで起こるダイナミクスをよく観察し、個々人の発達課題に合わせた声掛けができるようにする。
3	保護者様への丁寧な振り返りやフィードバック等の対応について。	お迎えに来られた時にその日のご様子をお伝えする。コーチの記録をそのまま保護者様様に公開して保護者様さまが確認できるようにしている。	引き続き、個別支援計画のねらいに基づいて、保護者様様にもわかりやすいことばで記録を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様会や保護者様研修機会の実施については、開催だけではなく、周知のしかたを考える必要がある(知らない、実施していないとの回答が多かった)。	現在は、保護者様向け研修会については、待合室や下駄箱にチラシを貼りだしていたため、周知されていない可能性がある。	アンケート調査から、保護者様向けの研修を行っていること自体を知らないとお話になる方が多かったです。そのため、研修案内は待合への張り出しだけでなく、声かけや、LINEへの一斉配信も今後は検討していく。
2	地域支援の在り方について。	社会協議会への参加や、地域に開かれた支援について、より保護者様や従事者の方に伝わるように活動を行う必要がある。	社会資源については把握ができているため、地域交流の時間を設けるなど、より具体化してそれを地域やご家庭に周知していく必要がある。

3	研修や訓練について、保護者様様が知る機会が少ない。	訓練や研修についての周知は、マンスリーレポートで行っているが、それだけでは周知されない可能性がある。	保護者様様に、研修や訓練の状況をお伝えする手段として、マンスリーレポートはこれからも続けていく。 また、待合スペースにも研修の進捗等がわかるものをラミネートして貼り出すなど、安心してお子様を預けられるような工夫を行う。
---	---------------------------	--	--